日本コミュニティ心理学会第25回大会発表論文集原稿雛形

**※ 本ページは原稿提出時に削除してください。**

**原稿作成上のご配慮のお願い**

本学会は、会員の皆様のご協力のおかげをもちまして、2022年1月27日付で「日本学術会議協力学術研究団体」に指定されました。これに伴い、学会から公表する研究成果においては、社会的信用や価値がさらに高まるのと並行して、最近の学界の趨勢を鑑みつつ社会的責任を果たすことが求められます。

この社会的要請に応える取り組みの一環として、今大会では、発表論文集の編集にあたり (a) J-Stageに掲載できる標準的な表記法の範囲内で作成すること、(b) 研究倫理に関する事項を明記すること、という2つの大きな目標を設定しました。

今大会でご発表いただく皆様には、原稿作成において従来よりも細かな配慮をお願いすることになります。取り組みの趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願いいたします。

**原稿提出について**

**原稿提出締切**　**2022年7月1日 (金)** です。締切を厳守してください。

**提出方法**　提出前に原稿を印刷して出来上がりを確認し、docxデータ (Microsoft Word 2007以降対応) を大会の発表登録フォームへ提出してください。提出後1週間経っても受領確認メールが届かない場合は、大会事務局までお問い合わせください。

**原稿修正について**　原稿を提出いただいた後、発表者名・所属と付記の発表者を特定できる情報を削除した上で、大会運営委員会内で原稿を確認します。その結果、修正を依頼する場合があります。

**問い合わせ先**

お問い合わせはメールにてお願いいたします。

日本コミュニティ心理学会　第25回大会事務局

E-mail: taikai@jscp1998.jp　　(運営委員会直通)

**原稿作成にあたって**

**レイアウト**　余白、段組み、文字数・行数等の**ページ設定を変更しないでください**。**分量は2ページ以内です**。ページ設定は以下の通りです。(a) 余白は、上左右25mm、下30mm、(b) 段組み・文字数・行数は、2段組み・22文字・38行 (1ページ目は本文33行)、(c) ページ番号なし、(d) 白黒印刷のみ。また、論文タイトル、発表者・所属の**テキストボックスの位置や設定も変更しないでください**。

**本文の表記法**　文字の大きさは10.5ポイントで、フォントは全角文字でMS明朝、半角英数字でTimes New Romanとしてください。句読法は「、」と「。」を用いてください。

**論文の構成**　問題と目的、方法、結果、考察、引用・参考文献、付記と例示していますが、標準的な範囲で構成を変更しても構いません。

**見出し**　大見出し、中見出し、小見出しの3段階としてください。フォントはMSゴシック、ボールド体 (太字) とし、見出しに番号はつけないでください。見出しの書式と使用の優先順位は以下の通りです。見出しを1種類だけ使う際は大見出しを、2種類使う際は大見出しと小見出しを使用してください。

(1) 大見出し: 中央揃えで記載し、改行して本文。

(2) 小見出し: 左揃えで全角1文字下げて記載し、改行せず全角1文字空けて本文。

(3) 中見出し: 左揃えで記載し、改行して本文。

―――― 3種類の見出しを使う際の記載例 ―――――

**研究1**

研究1の目的は、・・・

**方法**

本研究では、・・・

**調査協力者**　A県内の福祉施設の職員・・・

―――――――――――――――――――――――――

**倫理的配慮について**

**原稿作成時の個人情報等への配慮**　原稿作成にあたっては、研究フィールドや協力者が特定されないよう配慮してください。具体的には、以下のような記載が考えられます。

(1) 発表者の所属からフィールドを特定されないよう「発表者の所属する機関」、「当院」等の記載をせず、「近畿地方のA法人」、「Bクリニック」等とする。

(2) 事例研究で入所期間を記載する場合等は「X年6月～8月」とするか「3か月間」と期間を示す。

**本文中の倫理的配慮の記載について**　今大会の原稿では、方法の部分に倫理的配慮の記載を必須としており、雛形中に倫理審査を受けていない場合の記載例を示しています。記載例の内容は、説明と同意やデータの保管方法に関する標準的な記述を例示したもので、発表に際して例示した倫理的配慮のすべてがなされていることを求めるという趣旨のものではありません。原稿作成にあたっては、**研究の実態に応じて「配慮していた内容」を詳しく記載してください**。

**その他**

この雛形の中で言及されていない事項については、コミュニティ心理学研究の「執筆・投稿のてびき」(http://jscp1998.jp/contribution/) に準じてください。

雛形の「青字」部分は記載上の注意事項ですのでそれを参考とし、提出の際は削除してください。

雛形の「黒字」部分は例文として記載しています。研究の内容に合わせて削除・変更してください。

**※ 本ページは原稿提出時に削除してください。**

**目　的**

日本コミュニティ心理学会第25回大会発表論文集書式

(タイトル、MSゴシック、14ポイント程度、中央揃え)

学会 花子 (○○相談室) 大会 太郎 (○○大学)

(発表者名、所属ともにMS明朝、12ポイント程度、中央揃え)

**方　法**

**倫理的配慮**　所属機関の倫理委員会等から承認を受けている場合は、承認番号等を含めてその旨記載してください。

倫理審査を受けていない場合は、説明と同意、データの取り扱い (開示や保管) 等の倫理的配慮についてできるだけ詳細に記載してください。

発表に際して、必ずしも記載例のような配慮がなされていることを求めるものではありません。原稿作成にあたっては、研究の実態に応じて「配慮していた内容」を詳しく記載してください。

――――倫理的配慮の記載例―――――

【倫理委員会等の承認を受けていない場合①】

**倫理的配慮**　事前に、研究協力が自由意志に基づくこと、匿名性が確保されること、同意を撤回できることを文書及び口頭で説明し口頭で同意を得た。個人情報を含む観察記録及び録音データは個人を特定できる内容を削除して匿名化した。データはパスワードロックのかかったUSBに保存し、鍵のかかる棚で保管した。匿名化前のデータはインターネットに接続されていないパスワードロックのかかるパソコン上に保存した。

【倫理委員会等の承認を受けていない場合②】

**倫理的配慮**　調査票のフェイスシートに、回答は自由意志であること、回答の匿名性が確保されることを明記するとともに、調査票を配布した後に担任教師により教示してもらった。調査票への回答をもって同意とみなした。データはパスワードロックのかかったパソコン上に保管した。

――――――――――――――――――

**結　果**

結果は客観的にわかりやすく示しましょう。

**図表の挿入**　本文中に図表を挿入しても構いません。図表部分は2段組みでなくても構いません。図表は以下の要領で作成してください。

(1) 図表のタイトルは、表の上に例の通り記載する。Figure番号及びTable番号は左揃え、ボールド体 (太字)。

(2) 表では縦罫線を極力使わない。

(3) 本文中に参照先の図表を示す場合も、Figure 1、Table 1と英語で記載する。

――――図表の記載例――――

【本文中の記載例】

クラスター分析の結果、3つのクラスターが抽出された (Figure 1)。



【本文中の記載例】

Table 1に分散分析の結果を示した。

――――――――――――――

※ 挿入した図表を選択して、右クリックのメニューで「文字列の折り返し」を「前面」か「背面」に設定すると、本文の段組みや改行位置等を無視して図表を配置できます。この設定を使うと、本文の文字列が図表に隠れて見えなくなることがあります。その際は改行で文字列の位置を調整してください。原稿の余白を適切に確保できる範囲で位置を調整してください。

**考　察**

考察は論理的に記載しましょう。

**引用・参考文献**

引用文献とは本文中に引用した文献で、参考文献は必ずしもそうではありません。いずれにせよ、他の研究者がその文献の同定し検索できるように

正確に情報を記載してください。記載方法はコミュニティ心理学研究の「執筆・投稿のてびき」最新版に準じてください。

なお、引用・参考文献の記載は必須ではありません。

**付記**

利益相反について必ず記載してください。研究助成、謝辞は必要に応じて記載してください。

――――付記の記載例――――

【開示すべき利益相反のない場合】

発表に関連し、開示すべき利益相反の関係にある企業等はない。本研究はJSPS科研費○○を受けて実施された。

【開示すべき利益相反のある場合】

発表に関連し、コミュニティ心理学株式会社と利益相反関係にある。本研究の遂行にあたりご指導いただいた○○先生に深謝いたします。

 (発表者名、9pt、右揃え) (Gakkai Hanako, Taikai Tarou)